

令和3年度

オンライン講座

第22回  
熱海学  
III

22

2022  
3月  
No.22

熱海ブルーノ・タウト連盟

# タウト塾@熱海

## 熱海別荘物語 III

熱海市指定有形文化財 起雲閣 (きうんかく)



# 熱海別荘物語 III

熱海市指定有形文化財 **起雲閣** (きうんかく)





# 起雲閣を造った 3人の男たち

## 「起雲閣」を造った 3人の男たち

作家 中尾 ちろこ

熱海市で100年の歴史を刻み、文化観光の拠点として多くの来館・利用のある「起雲閣」は、内田信也から、根津嘉一郎、そして桜井兵五郎と3人の豪華な、政治家・歴史家・作家が歴代所有者。第20回伊豆文学賞の最優秀賞受賞書で、同市に住む作家中尾ちろこさん(本名・千恵子)は「マルナカインターナショナル社長」が3人の足跡、所有の経緯などを取材し、まとめた。11回にわたり連載する。

### プロローグ

熱海の商店街にありながら白壁に囲まれた瓦葺、暖か、スリッパに履き替えて暖き上げられた地下を歩む。時がゆっくりと流れている。

### 奇稿

現在は熱海市指定の有形文化財となっているが

100年前に和・洋・中・共、三賢、佳友、安田、国・アジア折衷の希有、大倉のような大財閥ではけいごな空間を創出し、ないが、それぞれの出身所有してきた3人の男たち、茨城、山梨、豊能豊中に興味を覚えた。彼らでは歴史的背景の出自を熱海の出身でも、静岡、もつ名家である。幕末から維新への波を乗り切った。新時代の要望の中で、ためこの地に別荘を持つ、好機をつかんで財を成らせたのか、またたけ、政治家に躍り出ていくだけの財力があつたのか。三人三様、個性豊かなその財力の源は、個性とリーダーシップと。そして3人の行く末は、カリスマ性を持ち、よく、なごむといたって下世話な趣味でも口清、口濁に誘った。下世話な趣味のひもをくわつてきた男たちも解いてみたいと思つたことがある。



起雲閣の入館者を迎える表門「東照門」

## 内田信也、根津嘉一郎、桜井兵五郎 歴代所有者の足跡たどる

石畳の庭先に足を踏み入ると、誰もが過ぎし日の通風に誘われる。武家の

をすでに訪問した方、これから訪れる方の興味と関心をより喚起できればと願い、資料と取材をまとめた。

中尾ちろこ／本名(中尾千恵子)  
1946生まれ 静岡県浜松市出身  
現在(株)マルナカインターナショナル代表

### 著書

- 『ロシアン・ビューティ』(東洋書店)、『つるし雛の港』(文芸社)、『プチャーチン異聞』(『異郷に生きるVI』成文社所収)、『熱海残照』(羽衣出版、第20回伊豆文学賞受賞)、『ロシアの躁と鬱』(成文社)。

# 造った三人の男 1918 (大正7) 年~1999 (平成11) 年

うちだのぶや  
内田信也

相雲荘



1918 (大正7) 年  
~  
1925 (大正14) 年

ねずかいちろ  
根津嘉一郎

根津熱海別荘



1925 (大正14) 年  
~  
1944 (昭和19) 年

さくらひょうごろう  
桜井兵五郎

起雲閣



1947 (昭和22) 年  
~  
1999 (平成11) 年

# 内田信也時代 1918（大正7）年～1925（大正14）年



## 相雲荘

1918（大正7）年内田信也が土地の造成、建物の建設に着手

1919（大正8）年内田別邸として竣工  
「麒麟・大鳳の棟、孔雀の棟」

1920（大正9）年隣接する土地を入手し敷地を拡大  
内田信也：大正・昭和期の政治家、実業家。茨城県出身。三井物産を経て内田汽船を設立、第一次世界大戦の戦争景気で財をなし、海運王と呼ばれた。

1924（大正13）年に衆議院議員に。

昭和9年には鉄道大臣に就任。

主に実母の静養の場所として、別荘を利用する。

# 内田別邸(大正8年~)

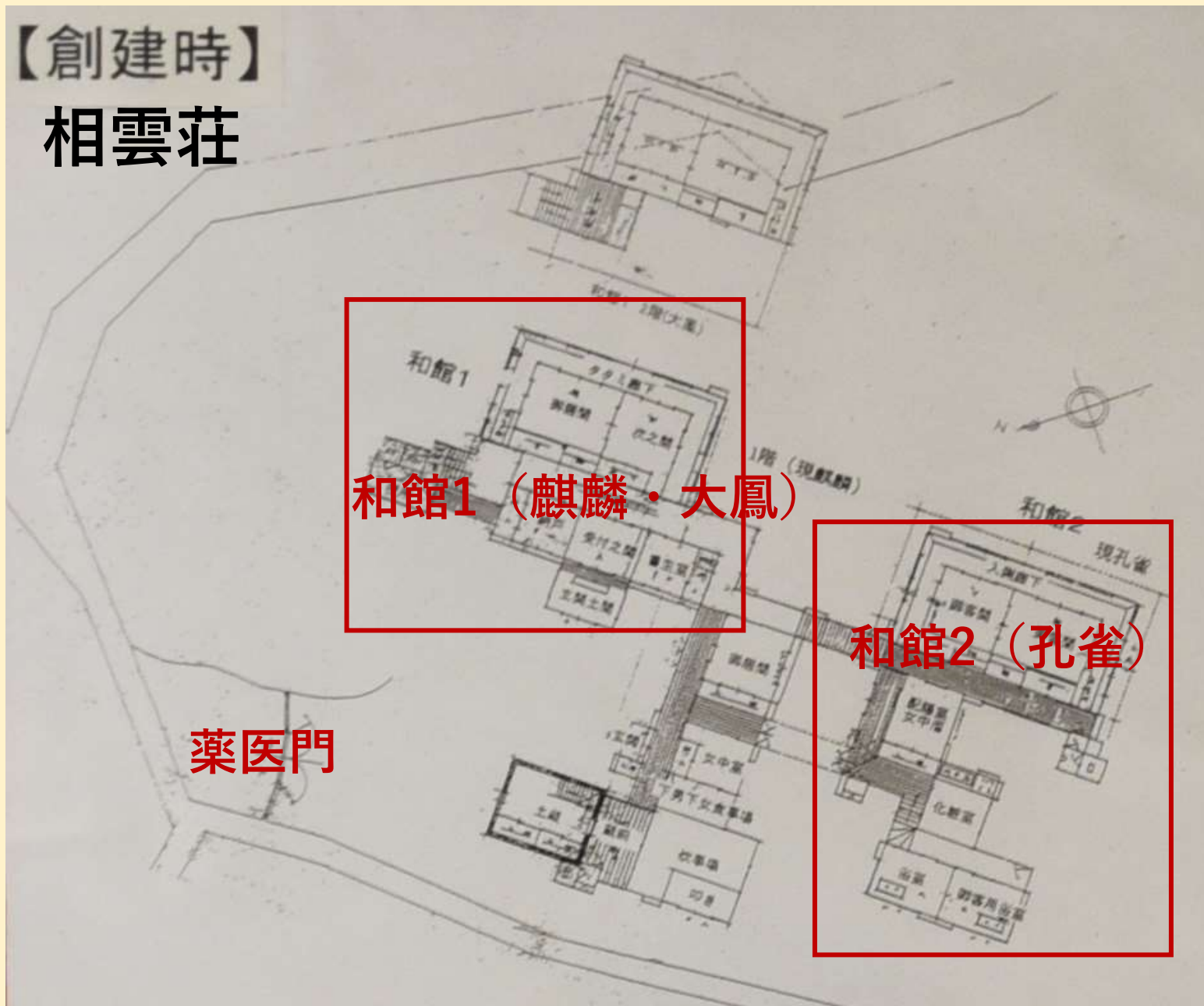


和館1 (1F麒麟・2F大鳳)



和館2 (孔雀)

## 【創建時】 相雲莊





# 相雲荘

1F 麒麟



「麒麟」 母親の西洋のための静養のための純和風の間

# 相雲荘

いりがわ

入側造り



麒麟の間

畳廊下



# 薬医門



# 根津嘉一郎時代 1925（大正14）年～1944（昭和19）年

東武鉄道グループ創業者

## 根津熱海別邸

1925（大正14）年 根津嘉一郎が内田信也より土地・建物を取得。根津別邸となる

1929（昭和4）年 金剛・ローマ風浴室の棟 竣工

1932（昭和7）年 玉姫・玉溪の棟 竣工

1944（昭和19）年 根津家が「根津別邸」を手放す

根津嘉一郎：明治・昭和期の政治家、実業家。山梨県出身。1904（明治37）年に衆議院議員

1905（明治38）年に東武鉄道社長。1929（昭和4）年には日光線を開通させ、鉄道王と呼ばれた。





根津美術館

NEZUMUSEUM



かつての蔵（収蔵庫）



現在の根津美術館（設計・隈研吾）▶



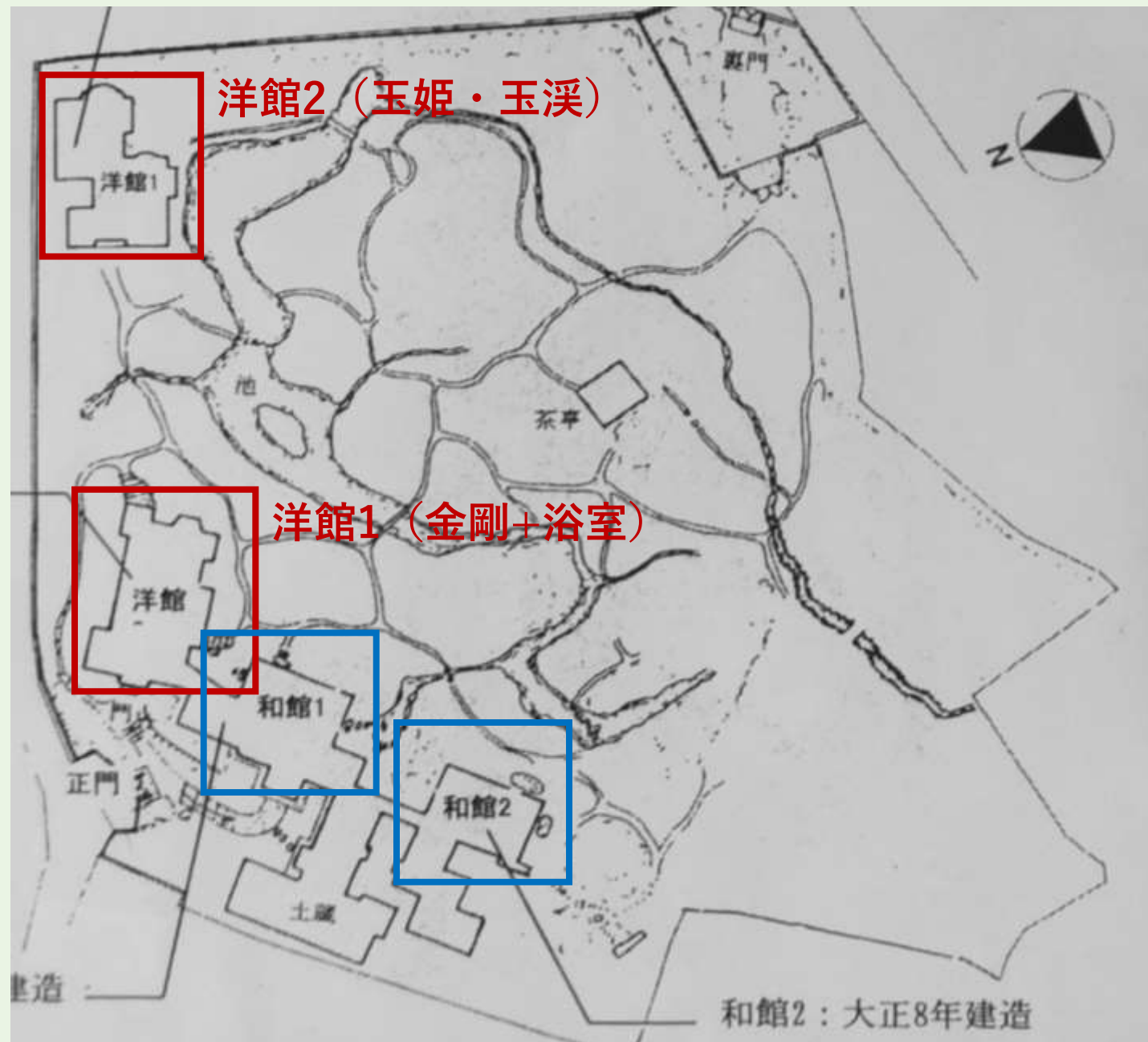
# 根津別邸(大正14年~)



洋館1 (客室・金剛+ローマ風浴室)



洋館2 (食堂・玉姫+客室・玉溪)





# 庭園



「根津さんは少しも旦那ぶったところがなく、ご自分も職人の中に入ってスコップをもち、モッコを担ぎました。」





## 根津の大石

10人以上の庭師が2カ月以上かけて運んだ20トンの巨石。  
3分の2は土中。





# 金剛（昭和4年）





# ローマ風 温泉浴室



# 玉姫（昭和7年）





# 玉溪 (昭和7年)



# 桜井兵五郎時代 1947（昭和22）年～1999（平成11）年

## 起雲閣



**1947**（昭和22）年 桜井兵五郎が取得し、旅館（起雲閣）として開業

**1949**（昭和24）年 金剛の棟を改築

**1981**（昭和56）年 現在の音楽サロンの棟を新築（当時は宴会場であった）

**1990**（平成2）年 展示室（初霜・春風・有明）の棟、企画展示室・貸出施設（ギャラリー）棟、貸出施設（鶯・千鳥・雲雀）の棟を新築

**1999**（平成11）年 旅館廃業 競売物件となる

桜井兵五郎：大正・昭和の政治家、実業家。石川県出身。衆議院議員。日本タイプライター協会の会長を務める。

金沢の湯涌温泉でホテルを経営していたが、終戦後アメリカの進駐軍に接收されて事業ができなかったために、熱海で旅館を開業する。「**起雲閣**」の名称は旅館時代に名付けられる。



# 大隈重信

## 早稲田大学を創設



1838年（天保9年） - 1922年（大正11年）  
日本の政治家。位階勲等爵位は従一位大勲位侯爵。

参議、大蔵卿、内閣総理大臣（第8・17代）、外務大臣、農商務大臣、内務大臣、枢密顧問官、貴族院議員、報知新聞経営者（社主）同志社大学社友。

政党内閣制を基軸にした即時国会開設を主張するなど議会制推進。早稲田大学を創設し官学に匹敵する高等教育機関を育成するために力を注いだ教育者。

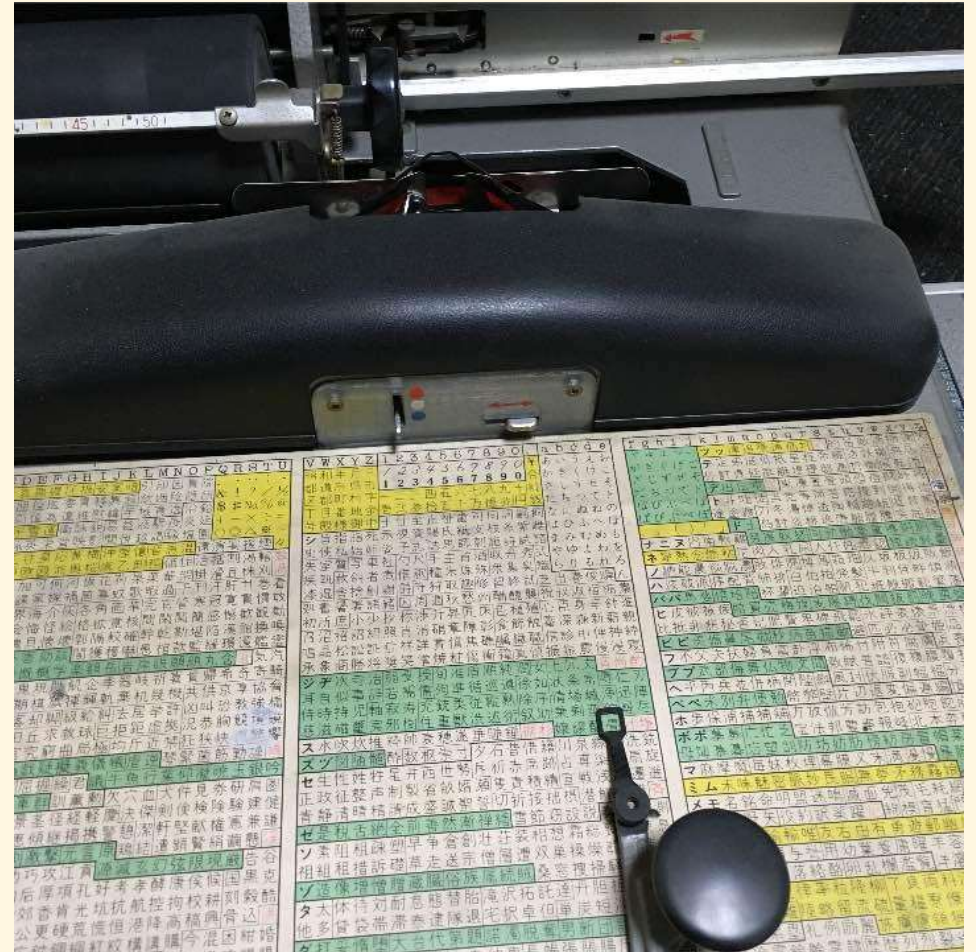
# 日本タイプライター株式会社

邦文タイプライターの製造会社として資本金30万円にて日本タイプライター株式会社設立

キヤノン販売株式会社と資本の参加

2001 社名を日本タイプライター株式会社から現在

キヤノン・エヌ・ティー・シー株式会社



邦文タイプライター





# 白雲楼ホテル



石川県金沢市湯涌温泉にかつて存在した温泉ホテル。昭和7年に桜井兵五郎により開業した豪華なホテルで、70室の客室を持ち、かつては東洋一といわれていた。

GHQが保養施設として接收したり、吉田茂元首相が来館したり、昭和天皇・皇后が食事をするなど栄華を極めたが1998年（平成10年）に倒産した



# 起雲閣

麒麟

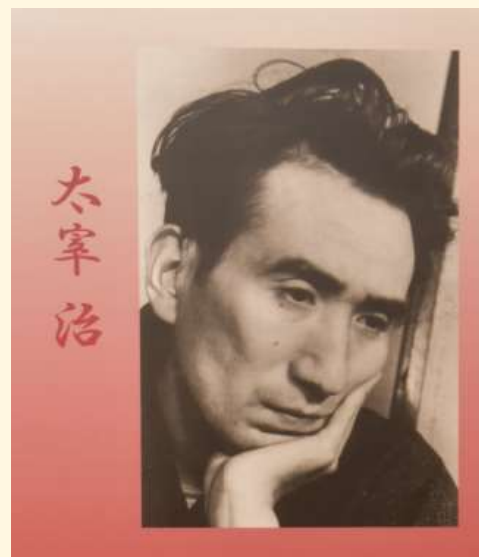
群青色で  
壁が塗ら  
れてよみ  
がえった



# 訪れた文学者



山本有三、志賀直哉、谷崎潤一郎

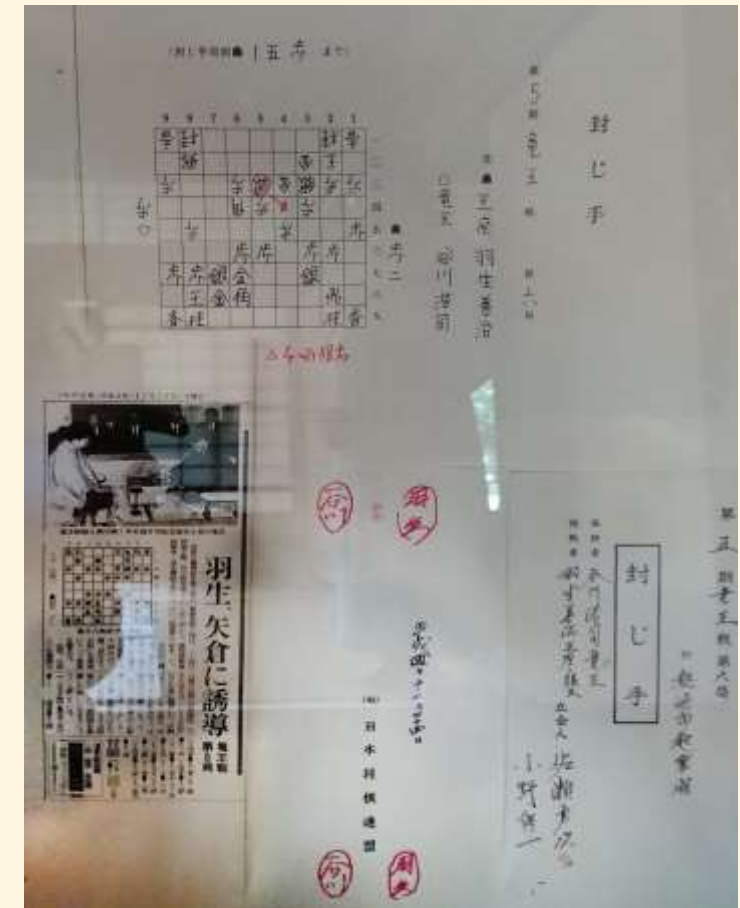


(起雲閣展示より)



# 将棋 第5期竜王戦第6局

1992(平成4)年12月24日～25日  
谷川竜王と羽生王座棋王の戦いが  
起雲閣・孔雀の間で行われた。



# 熱海市指定有形文化財

## 起雲閣

平成11年（1999） 廃業した翌年  
平成12年（2000） 熱海市が取得

市指定有形文化財となり、  
文化観光の拠点となる。







## 見学のご案内

起雲閣は1919(大正8)年に別荘として築かれ、現在は非公開の岩崎別荘、今はなき住友別荘とならび、「熱海の三大別荘」と賞賛された名邸が基となっています。1947(昭和22年)には、旅館として生まれ変わり、太宰治・山本有三などの多くの文豪たちにも愛されていました。市街地とは思えない緑豊かな庭園。日本家屋の美しさをとどめる本館と離れ、また、日本、中国、欧州などの建築様式と装飾を融合させた独特の雰囲気を持つ洋館です。2000(平成12)年より、熱海市の所有となり、当市の文化と観光の拠点として多くのお客様を迎えています。熱海市教育委員会が管理公開しています。

|      |                           |
|------|---------------------------|
| 住所   | 熱海市昭和町 4-2                |
| 開館状況 | 休館日：水曜日（祝日・祭日の場合は開館）      |
| 開館時間 | 午前9時00分～午後5時00分（午後4時30分迄） |
| 入館料  | 大人：610円 中高生：360円          |
| 開設日  | 平成12年11月28日 開館            |
| 電話   | 0557-86-3101              |



令和3年度

オンライン講座

第 22回  
熱海学  
Ⅲ

22

2022  
3月  
No.22

熱海ブルーノ・タウト遺蹟

# タウト塾@熱海

## 熱海別荘物語 Ⅲ

起雲閣 (きうんかく)



END